

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2023年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項によって行う。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会として実施するが、ワールドアスレティックス(WA)のワールドランキングコンペティション(WRK対象競技会)としては実施しない。そのため、競技会で出された記録は国内の公認記録として認められるが、WAワールドランキングや国際大会(オリンピック・世界選手権など)の参加資格など、WA記録集計の対象とはならない。なお、スタートに関しては国内ルールを適用する。

2. 受付について

各校引率教諭は、9時までに受付をすませること。引率教諭の受付のない場合は競技者の大会参加は認められない。

3. 招集について

①すべての種目において、競技時間記載の招集時間に招集所(1500mスタート地点付近の倉庫)にて招集を受ける。招集完了後は競技場所に行き、最終召集をうける。

②招集完了時刻に遅れた競技者、最終召集にいない競技者は、当該競技種目を棄権したものとする。

③棄権する場合は、招集所に申し出る。

④リレー競技に出場するチームは、以下のようにオーダー用紙を提出する。提出後のオーダー変更はできない。オーダー用紙は招集場所で配付する。

予選については、競技開始時刻の60分前までに提出する。

決勝については、招集完了時刻の60分前までに提出する。

招集は4人そろって受ける。選手のユニフォームの形状を統一しなくてもよい。但し、デザイン、配色は統一すること。オーダー用紙提出後の変更については、総務・医務係の了承のうえ、招集所に申し出ること。

⑤競技時間の重なる他の競技と兼ねている競技者は、競技開始時間の早い競技の招集のときにその旨を招集所に申し出ること。

4. アスリートビブス(ナンバーカード)について

アスリートビブス(ナンバーカード)は指定されたものを使用し、胸部と背部につけること。ただし、走幅跳・三段跳に出場する競技者は胸部のみ、走高跳・棒高跳に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、800m以上の距離種目については腰ナンバー標識を使用する。使用した腰ナンバー標識はレース終了後直ちに係に返却すること。(ただし、リレー種目は4走の競技者のみが腰ナンバー標識をつければよい)

5. 競技について

①この大会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。

②スターターのコールは、英語(On your marks、Set)で行う。

③セパレートレーン使用の競技は、ゴール後も競技者の安全確保のため自分のレーン(曲走路)を走ること。

④トラック競技とフィールド競技を兼ねている競技者は、トラック競技を優先する。トラック競技に移動する場合は、フィールド審判員にその旨を伝え許可を得ること。

⑤棒高跳については、天候不良の場合、2日目に変更することがある。

⑥投てき練習は、競技開始前に競技役員の指示により行う。(それ以外の投てき練習は一切禁止する。)

⑦ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用してはいけない。

6. 競技の抽選ならびに番組編成について

①予選におけるトラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。

ただし、タイムレース種目において出場数が8名(チーム)以内となった場合は番組編成を再度行う。

- ②トラック競技の準決勝・決勝進出者の発表は、アナウンスするとともに、速報サイトに掲載する。
- ③トラック競技で同記録の場合、写真判定で着差があれば着順決定する。
- ④トラック競技のプラスアルファの決定については、同じ組で同記録の場合は前項の③を適用する。
同じ組で着差のない場合、および異なる組での同記録は抽選を行う。

7. 電気計時・写真判定機が作動しなかった場合の措置について

- ①800mまでの競技においては、判定可能なレース結果より上位8名を選出し、それに判定できなかった組の競技者全員を加えて決勝を行う。(タイムレース決勝方式)
- ②1500m以上の競技においては、周回記録員の手動計時をバックアップとして採用する。(非公認)
- ③再レースを行なう場合もある。

8. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方、三段跳の踏切板について

- 走高跳 男子 練習(1.40)－1.45－1.50・・・1.85～3センチ刻み
女子 練習(1.15)－1.20－1.25・・・1.50～3センチ刻み
- 棒高跳 男子 練習(2.20)－2.30－2.40－2.50 10センチ刻み
女子 練習(1.80)－1.80－2.00－2.20 10センチ刻み
- ただし、天候その他の条件によって変更することがある。
三段跳の踏切板は、砂場から男子10m・女子8mとする。

9. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポール、ヤリについては個人のものを使用することができる。ヤリは、競技開始時刻の1時間前から45分前までに検査を行い使用することができる。(ただし、持ち込んだヤリについては、その競技者の競技終了まで競技場で預かる。)
- ②練習用の個人の用具は、競技区域内に持ち込んではいけない。

10. シューズについて

- ①スパイクシューズのピンの長さは9ミリ以下とする。ただし、走高跳・やり投は12ミリ以下とする。
- ②競技用靴はTR5.2を適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は失格として取り扱う。
フィールド競技用シューズについてはTR5.2の適用除外(2024年10月31日まで)とする。記録は国内の公認記録として認められる。

靴底の厚さ(TR5.13.3)最大の厚さは、26.5cm～27cmを基準としています。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (三段跳を除く)	20 mm	三段跳を除く全てのフィールド種目に適用。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目(ハドル種目を含み、800m未満の種目)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目(障害物競走を含み、800m以上の種目)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。

11. ウォーミングアップについて

競技場内バックストレート側を使用する。競技に支障のないように注意して行う。競技役員の指示がある場合にはそれに従うこと。また、日傘はトラック周辺や助走路周辺では利用を控える。

12. 表彰について

- ①学校対抗男女別1位に賞状・楯を、6位までに賞状を授与する。
- ②トラックの部・フィールドの部は、男女とも3位までに賞状を授与する。
- ③各種目6位入賞者・チームに賞状（リレー種目は5枚）を授与する。

13. 県大会出場について

- ・各種目6位6名
出場辞退者がいる場合は、7位以下から繰り上げる。
- ・男子ハンマー投は33m、女子ハンマー投は23mに達している競技者（追加試技3回あり）
- ・5000m競歩は男子28分、女子33分以内の競技者
- ・シード競技者
女子400m 小川 心優（日本福祉大付属高）
- ・県大会申し込みは、2日目（9/3）午後、本部室にて受け付ける。

14. その他

- ①競技場の開門は7時30分とする。生徒は開門時間前に入場しない。
- ②応援は、スタンドで行う。ただし、スタンド最前列で立って応援をしない。
- ③スタート、フィニッシュ付近に出場競技者以外（付き添い・応援）は立ち入らない。
- ④招集所に行くときは、競技場の外の通路（テニスコート脇）を通る。
- ⑤競技中に生じた事故について応急処置はするが以後の責任は負わない。
- ⑥ゴミは、各自で持ち帰る。（駅・コンビニなどに放置しない）
- ⑦監督・コーチ・顧問・マネージャーは競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンド・芝生スタンドから見せることができる。ただし、競技場に持ち込むことはできない。もし、競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。
- ⑧カメラ・ビデオ等の撮影について

◆ 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

- ※ 撮影を許可するエリアは、正面スタンド・芝生スタンドのみとします。禁止された区域での撮影はできません。
 - ・ 各種目のスタート後方
 - ・ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
 - ・ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ※ 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。
- ※ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や、身体を動かしているなどの準備の行動の撮影は禁止します。
- ※ 他人に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。